

第3回県政インターネットモニターアンケート集計結果  
「食の都」「茶の都」「花の都」づくり認知度、参加率等に関するアンケート

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

○ 「食の都」「茶の都」「花の都」づくり認知度、参加率等に関するアンケート

静岡県では、農林水産物の生産、流通、消費における本県の中心性や求心力を高めるため、「食」、「茶」、「花」の3つの都づくりを推進しています。また、都づくりの基本となる農林水産物の魅力を磨き、国内外に効果的に情報発信できるふじのくにブランドの強化を図っています。

今後の取組の参考にするため、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

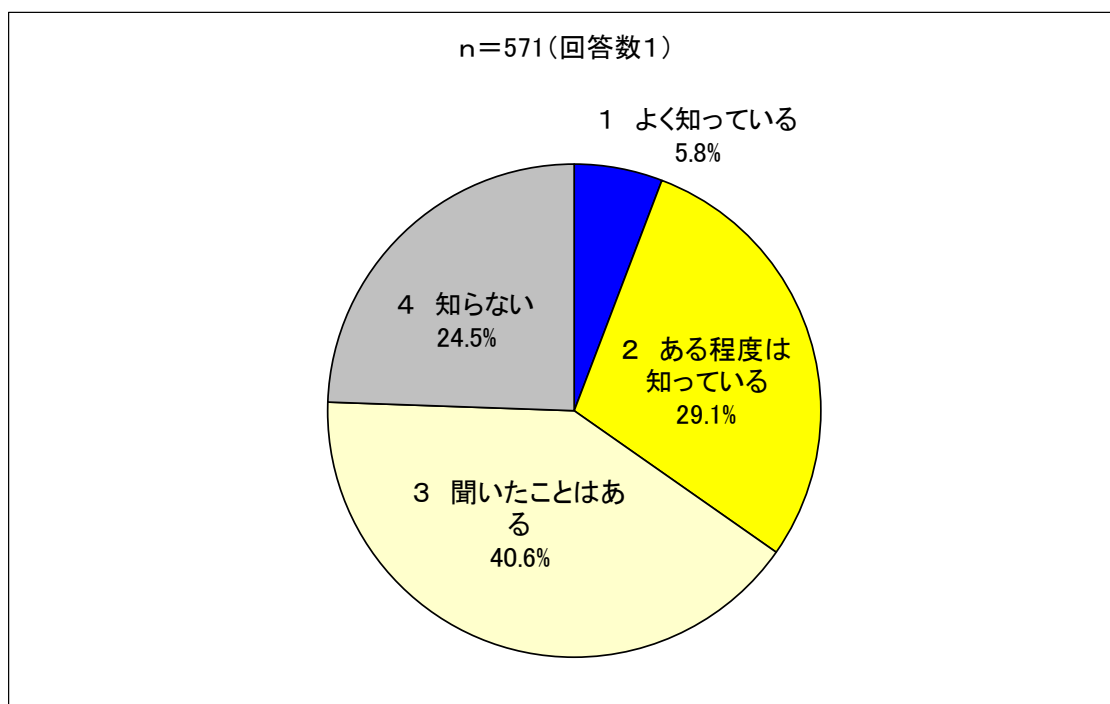
回答者数：571人（回答率：93.8%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	275	48.2%
	女性	295	51.7%
	その他	1	0.2%
年代	10代	5	0.9%
	20代	25	4.4%
	30代	83	14.5%
	40代	132	23.1%
	50代	136	23.8%
	60代	96	16.8%
	70代	73	12.8%
	80代	21	3.7%
	90代	0	0.0%
住所	東部	174	30.5%
	中部	209	36.6%
	西部	187	32.7%
	県外	1	0.2%
職業	自営業	31	5.4%
	会社員	205	35.9%
	公務員	12	2.1%
	パート・内職従事者	96	16.8%
	学生	15	2.6%
	無職	183	32.0%
	その他	29	5.1%

○「食の都」「茶の都」「花の都」づくり認知度、参加率等に関するアンケート

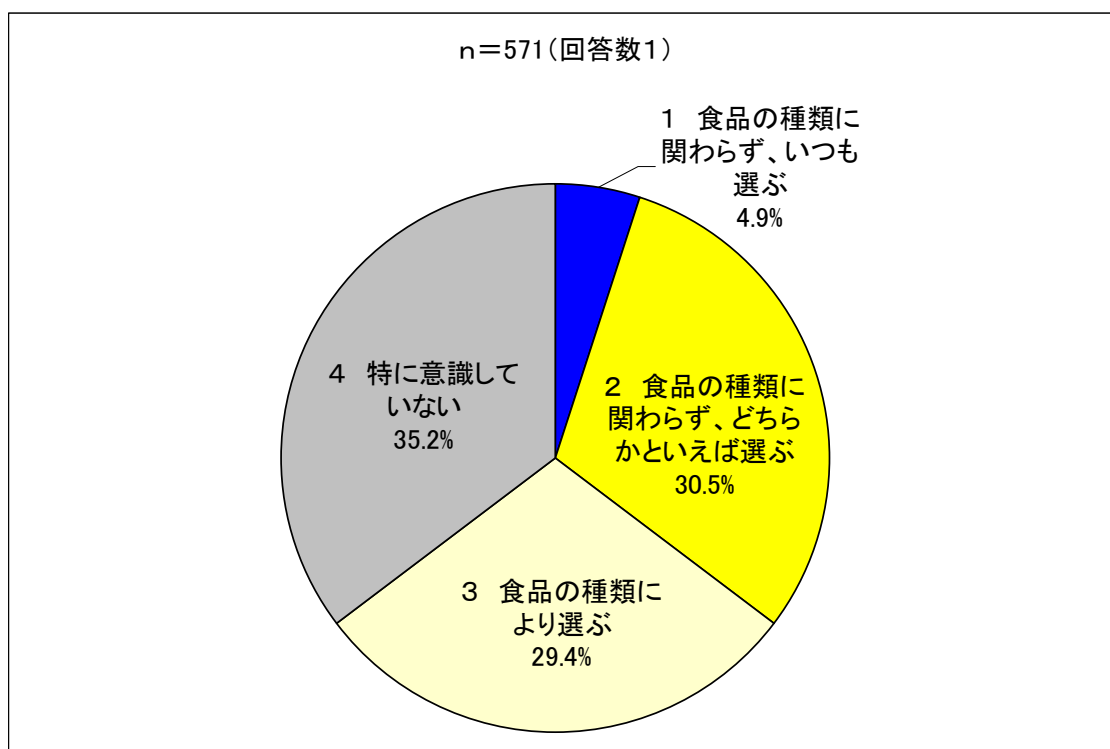
問1 本県は、県内各地で多彩で品質の高い農林水産物が生産されている「食材の王国」です。その魅力をより多くの人々に知っていただき、県産農林水産物消費を拡大するため、ふじのくに「食の都」づくり※に取り組んでいます。あなたは、この取組のことを知っていますか。(回答数は1つ)

※ふじのくに「食の都」づくり

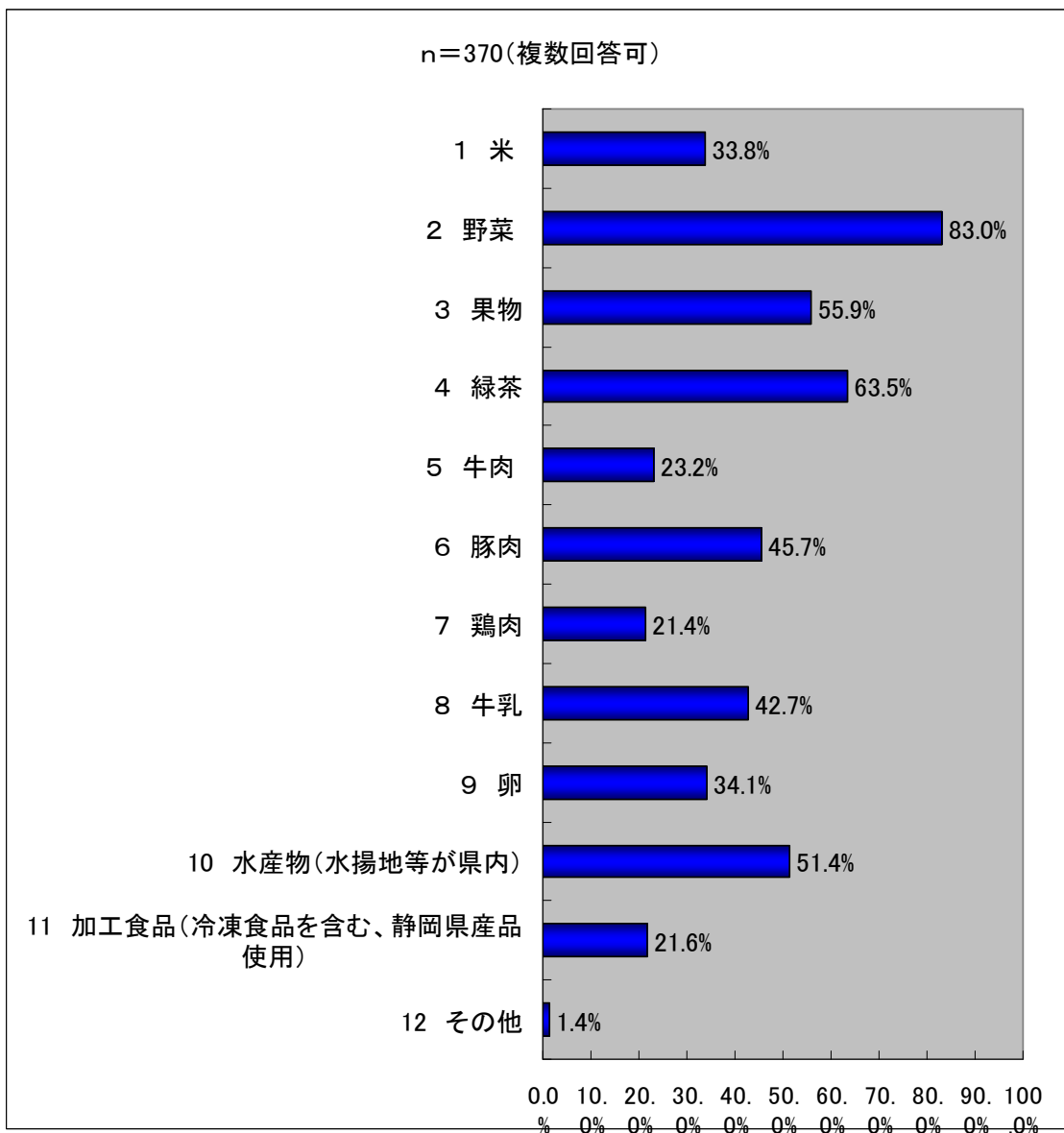
県産農林水産物の魅力を伝える料理人の表彰（「ふじのくに食の都づくり仕事人」）や、高品質な農林水産物や加工品の認定、表彰（「しずおか食セレクション」、「ふじのくに新商品セレクション」）、情報発信などにより「食の都しずおか」を実現する取組



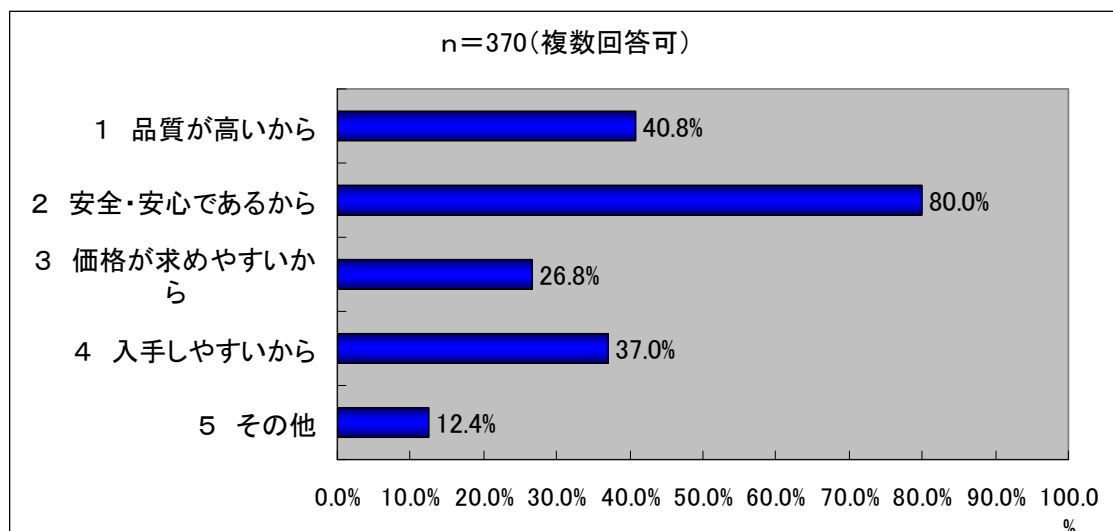
問2 あなたは、食品を購入する際に県産農林水産物（野菜、果実、魚など）や、それを活用した加工食品を選びますか。（回答数は1つ）



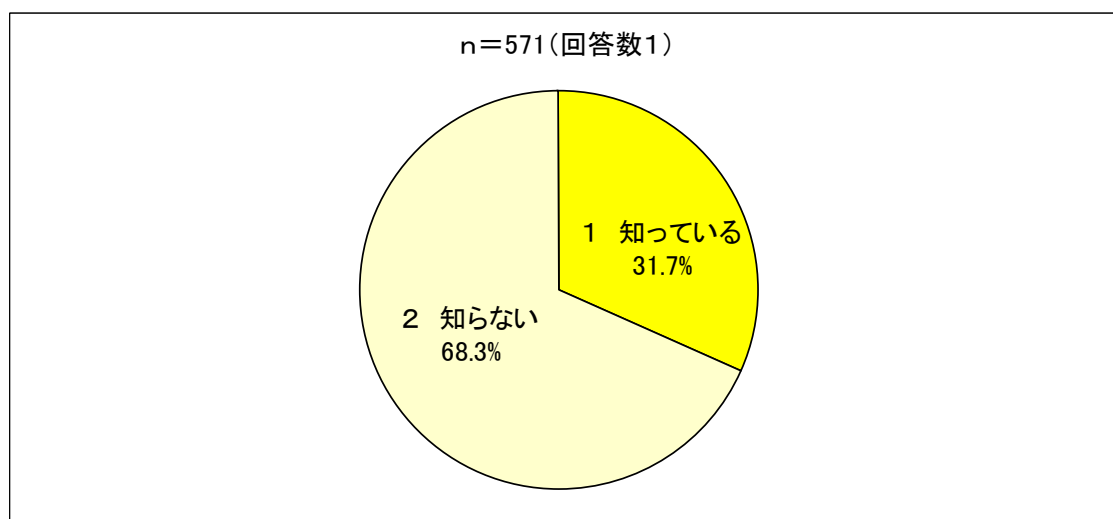
問2-2 問2で「1 食品の種類に関わらず、いつも選ぶ」、「2 食品の種類に関わらず、どちらかといえば選ぶ」、「3 食品の種類により選ぶ」を選択された方に伺います。よく購入する県産農林水産物やそれを活用した加工食品は何ですか。(複数回答可)



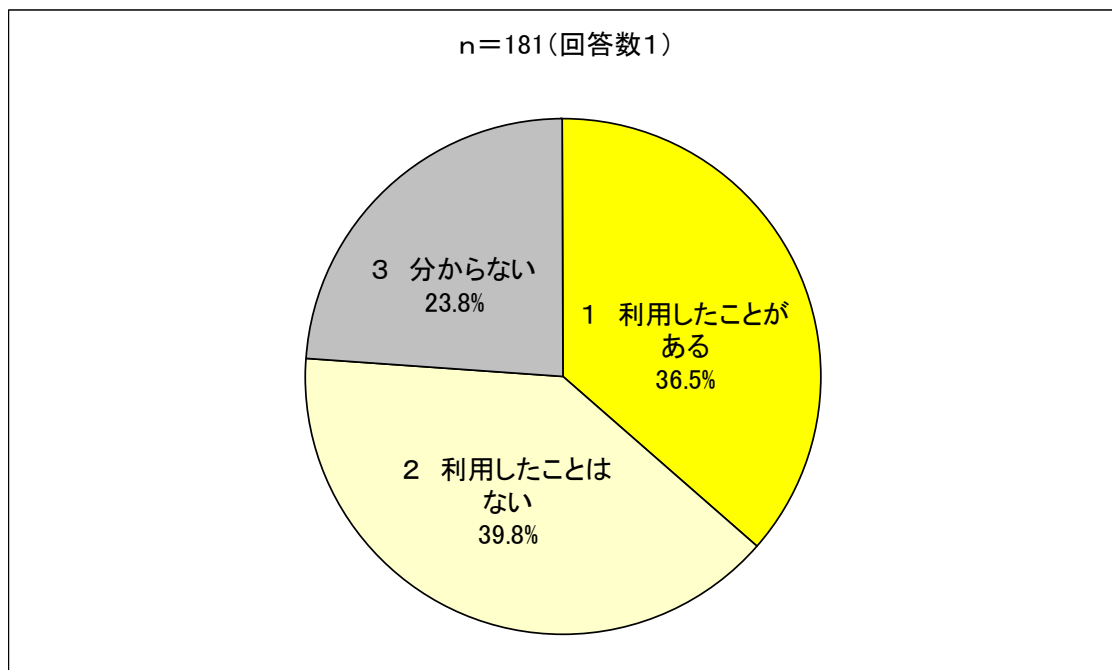
問2-3 問2で「1 食品の種類に関わらず、いつも選ぶ」、「2 食品の種類に関わらず、どちらかといえば選ぶ」、「3 食品の種類により選ぶ」を選択された方に伺います。県産農林水産物やそれを活用した加工食品を選ぶ理由は何ですか。(複数回答可)



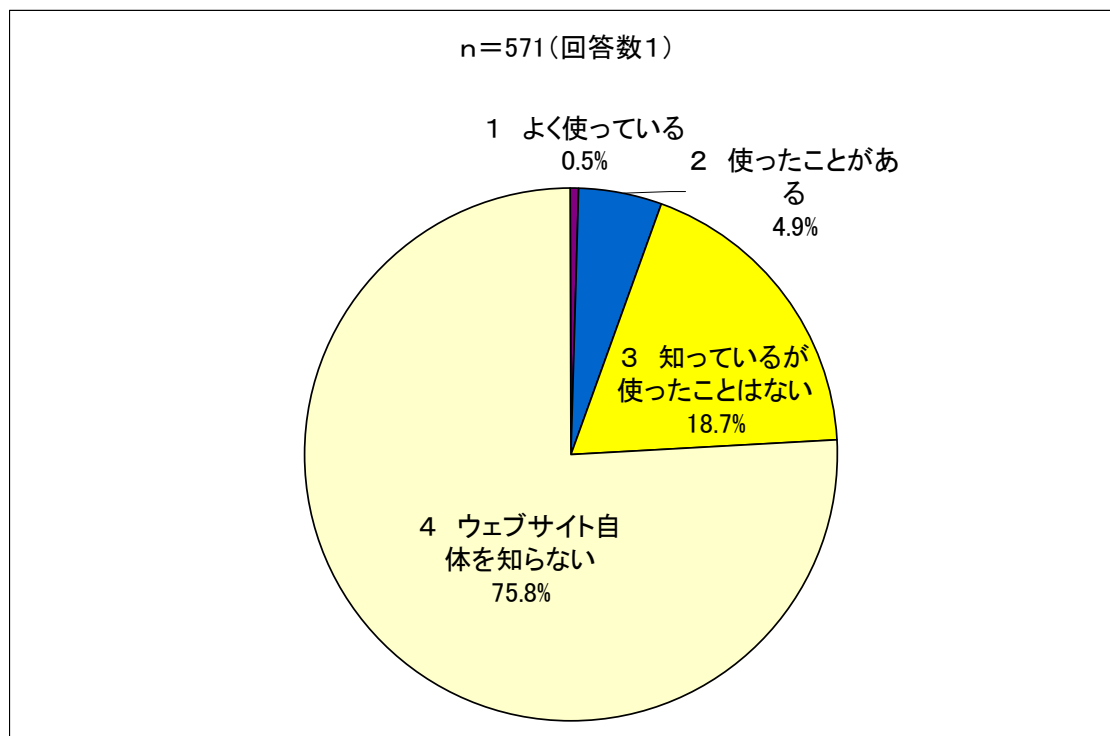
問3 静岡県は、県産農林水産物を積極的に活用し、その魅力を広める活動をしている料理人等を「ふじのくに食の都づくり仕事人」として表彰しています。あなたは、この「ふじのくに食の都づくり仕事人」を知っていますか。(回答数は1つ)



問3-2 問3で「1 知っている」を選択された方に伺います。この「ふじのくに食の都づくり仕事人」がいる店舗を利用したことがありますか。  
(回答数は1つ)

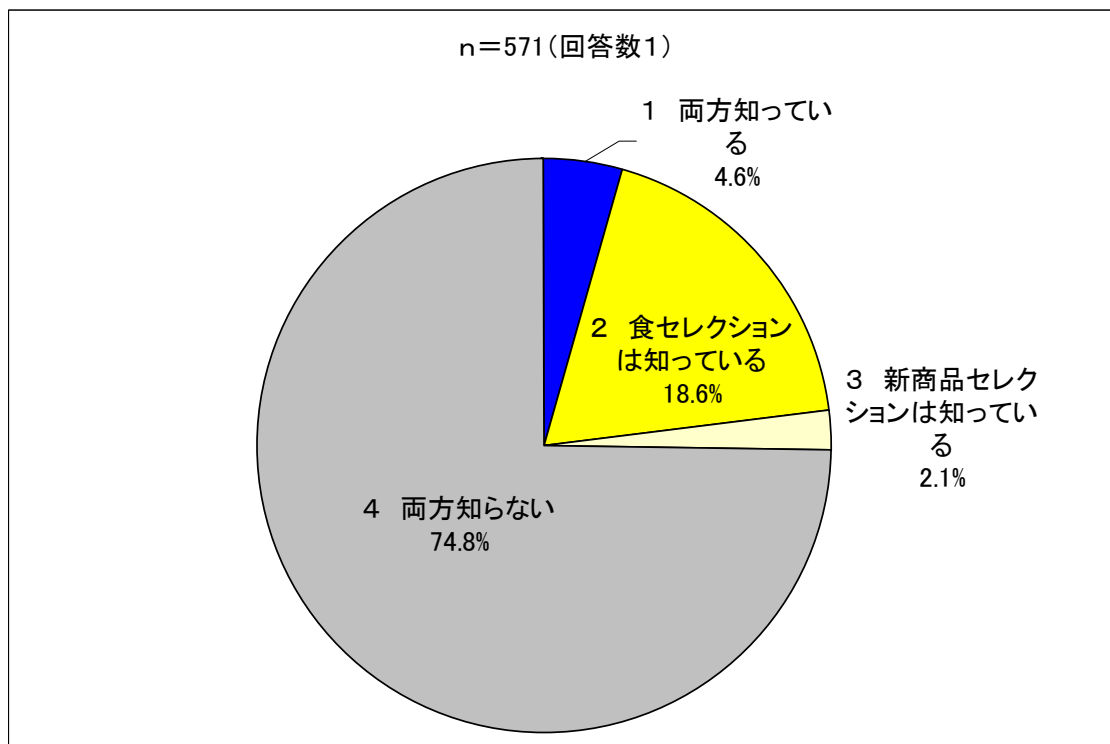


問4 静岡県は、「ふじのくに食の都づくり仕事人」がいる店舗や、静岡ならではの創作料理等の情報を掲載した食の都ウェブサイト「静岡おいしいナビ!」を運営しています。あなたは、このウェブサイトを知っていますか。(回答数は1つ)

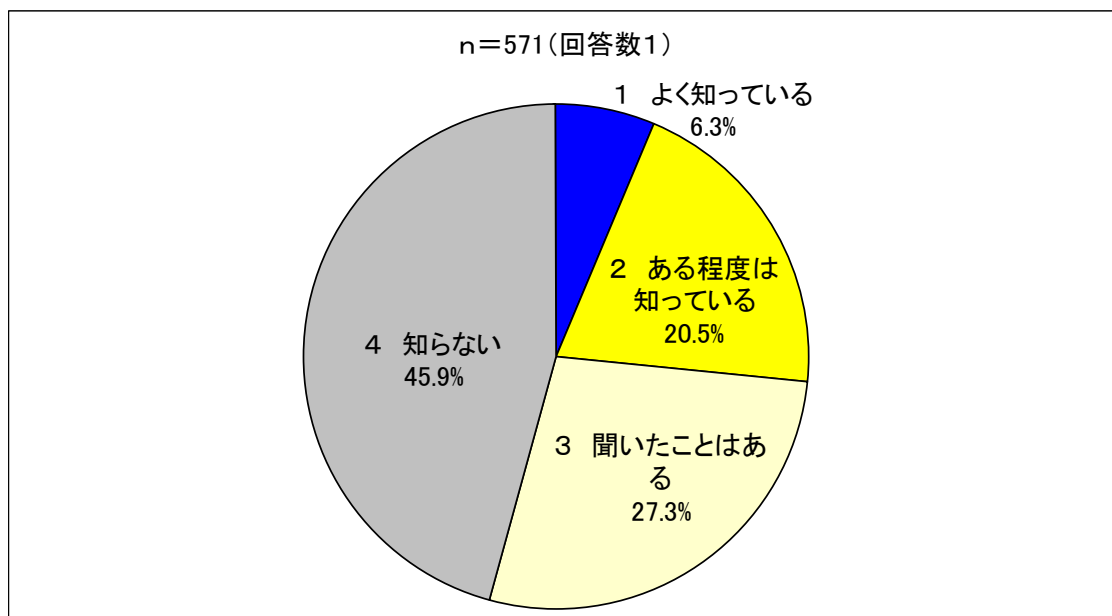




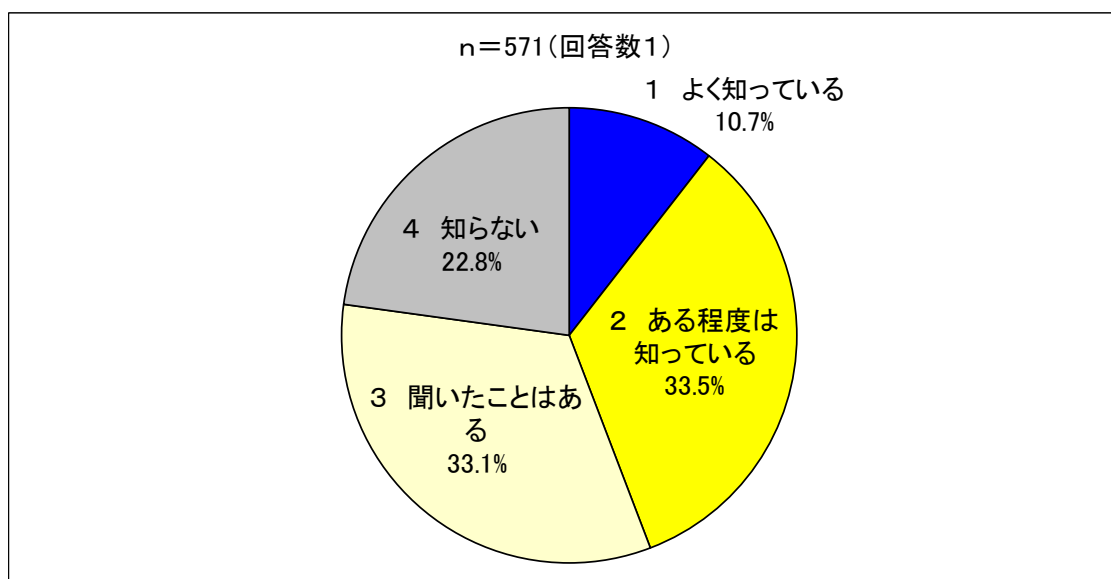
問5 静岡県は、全国や海外に誇れる県産農林水産物を「しずおか食セレクション」、県産農林水産物を活用した加工食品を「ふじのくに新商品セレクション」として、その魅力を発信しています。これらを知っていますか。  
(回答数は1つ)



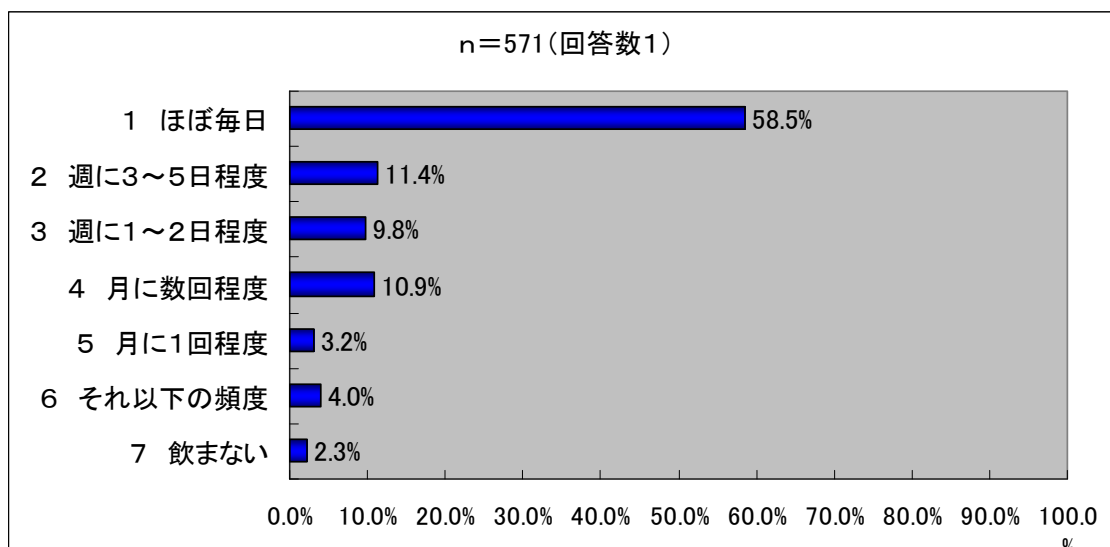
問6 わさびは「しずおか食セレクション」にも認定されていますが、静岡県は国内外のわさび栽培発祥の地として、江戸時代から伝統的な栽培が継承されてきました。あなたは、平成30年3月に「静岡水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産として認定されたことを知っていますか。(回答数は1つ)



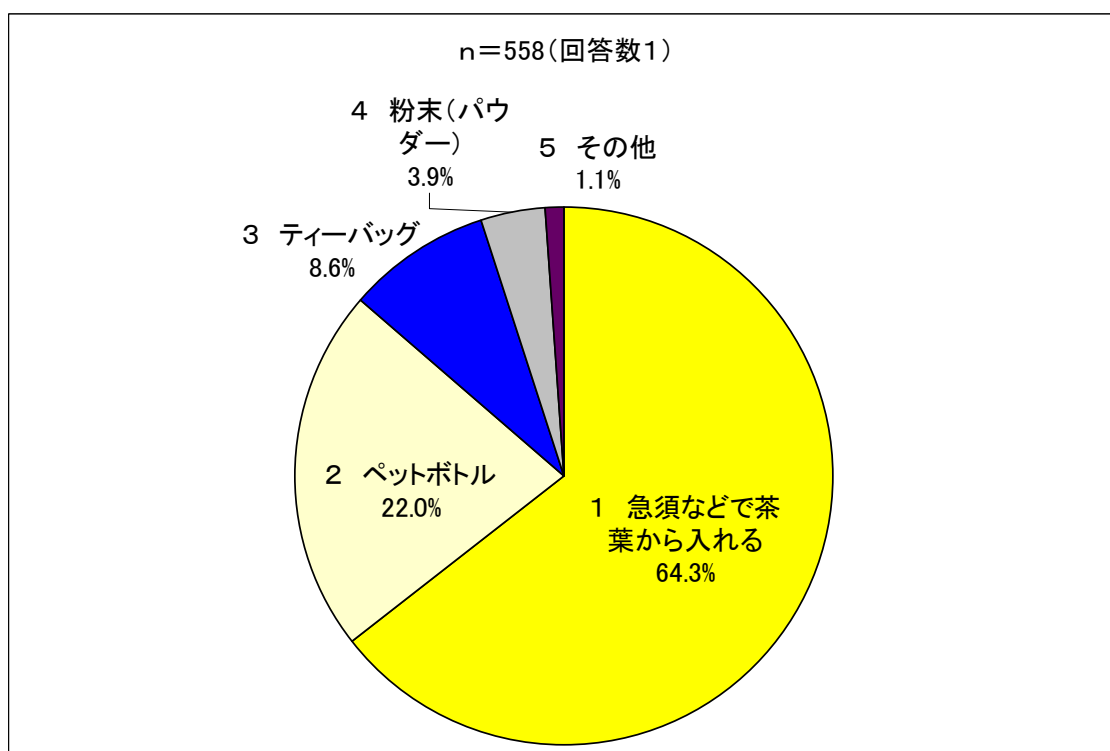
問7 静岡県は、全国の茶の生産量の約40%を占める日本一の茶の拠点として、お茶の産業、文化、観光の面から本県茶業を振興する、ふじのくに「茶の都」づくり（世界お茶まっりの開催など）に取り組んでいます。あなたは、この取組のことを知っていますか。(回答数は1つ)



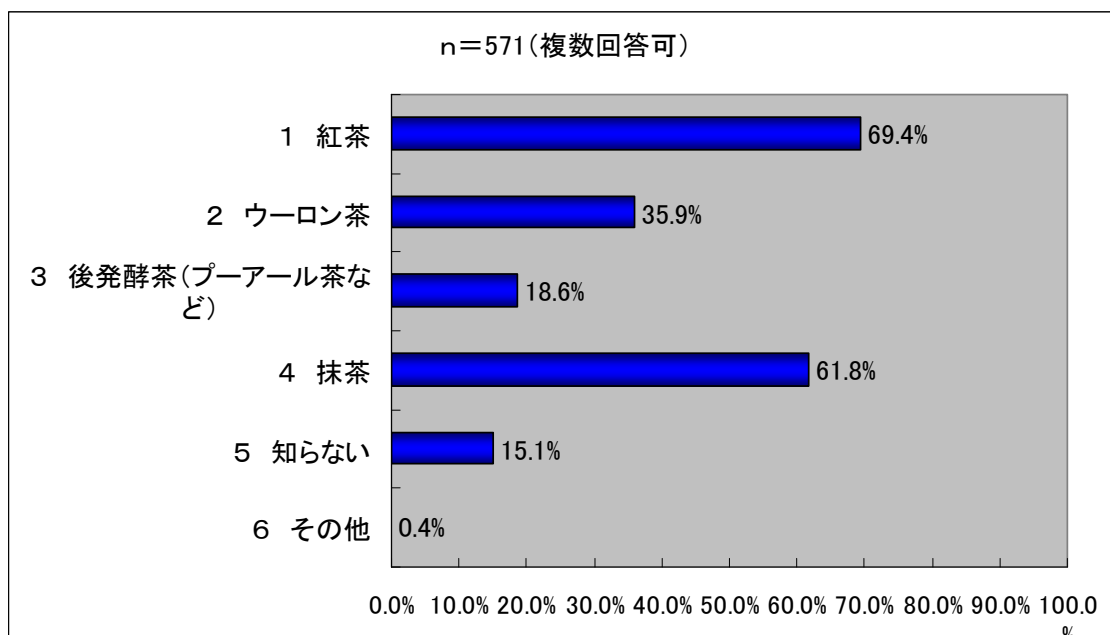
問8 あなたは普段、どのくらいの頻度で緑茶（ペットボトルを含む）を飲んでいますか。（回答数は1つ）



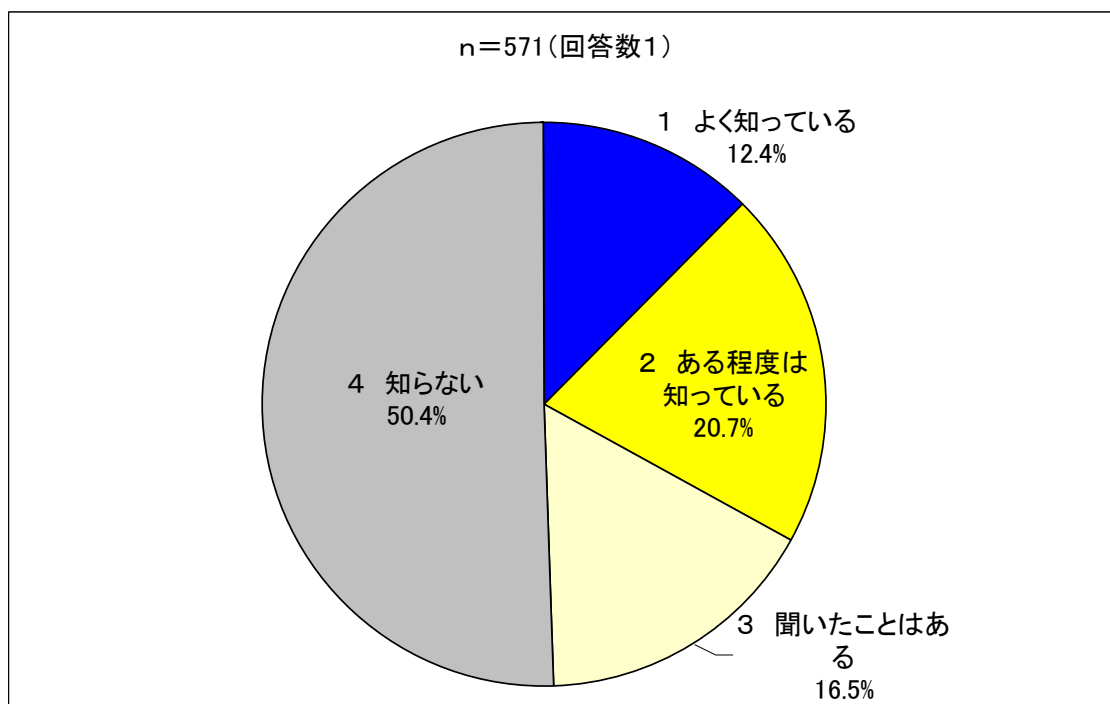
問8-2 問8で「1 ほぼ毎日」、「2 週に3~5日程度」、「3 週に1~2日程度」、「4 月に数回程度」、「5 月に1回程度」、「6 それ以下の頻度」を選択された方に伺います。あなたが普段、緑茶を飲む方法として、最も多いのはどの方法ですか。（回答数は1つ）



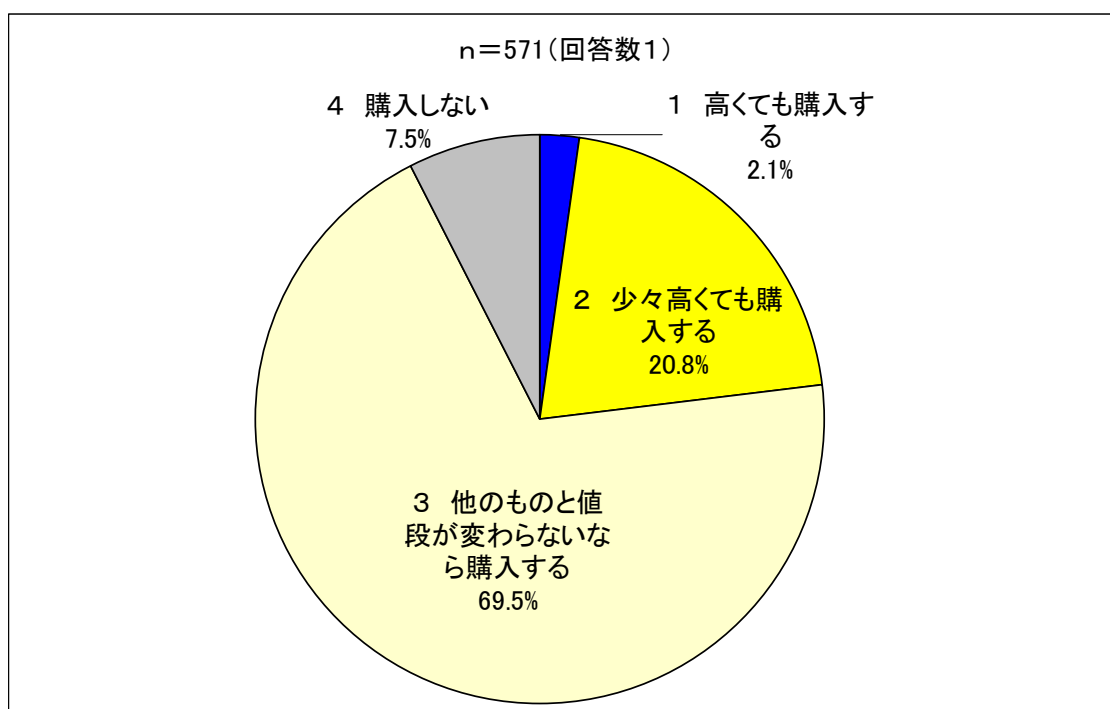
問9 県内では、煎茶の他に様々なお茶を作っていますが、あなたが知っているものは次のどれですか。(複数回答可)



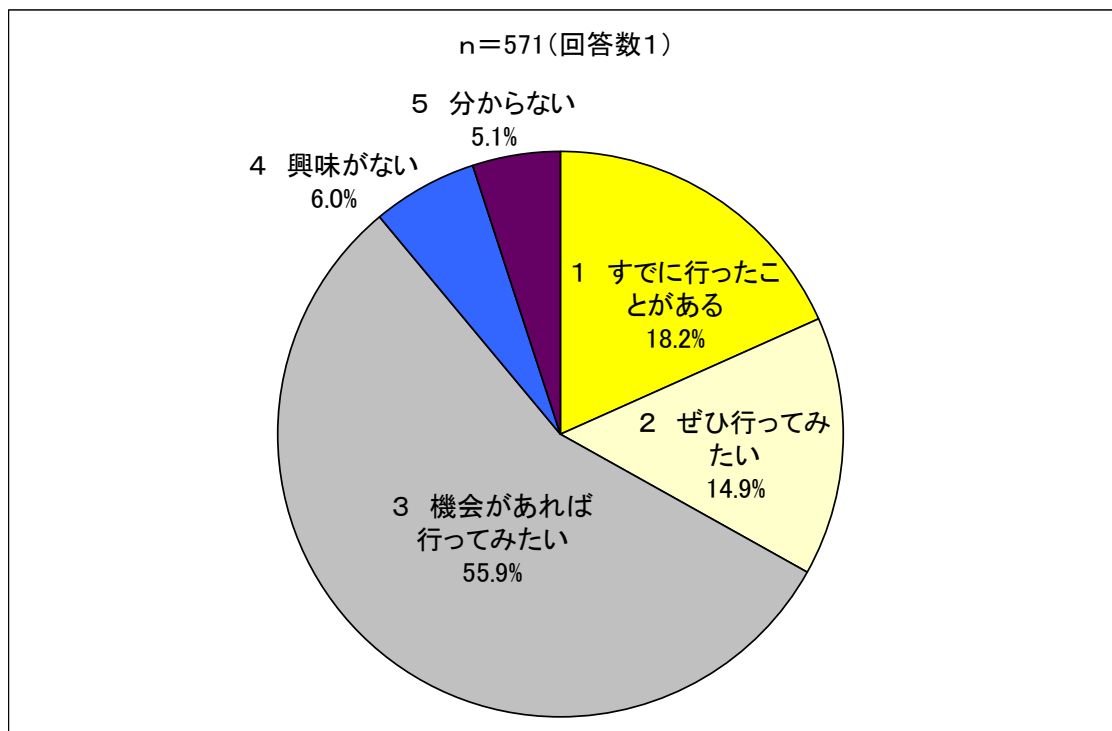
問10 良質な茶生産と多様な動植物の生存が両立している「静岡の茶草場農法」が、平成25年に世界農業遺産に認定されたことを知っていますか。(回答数は1つ)



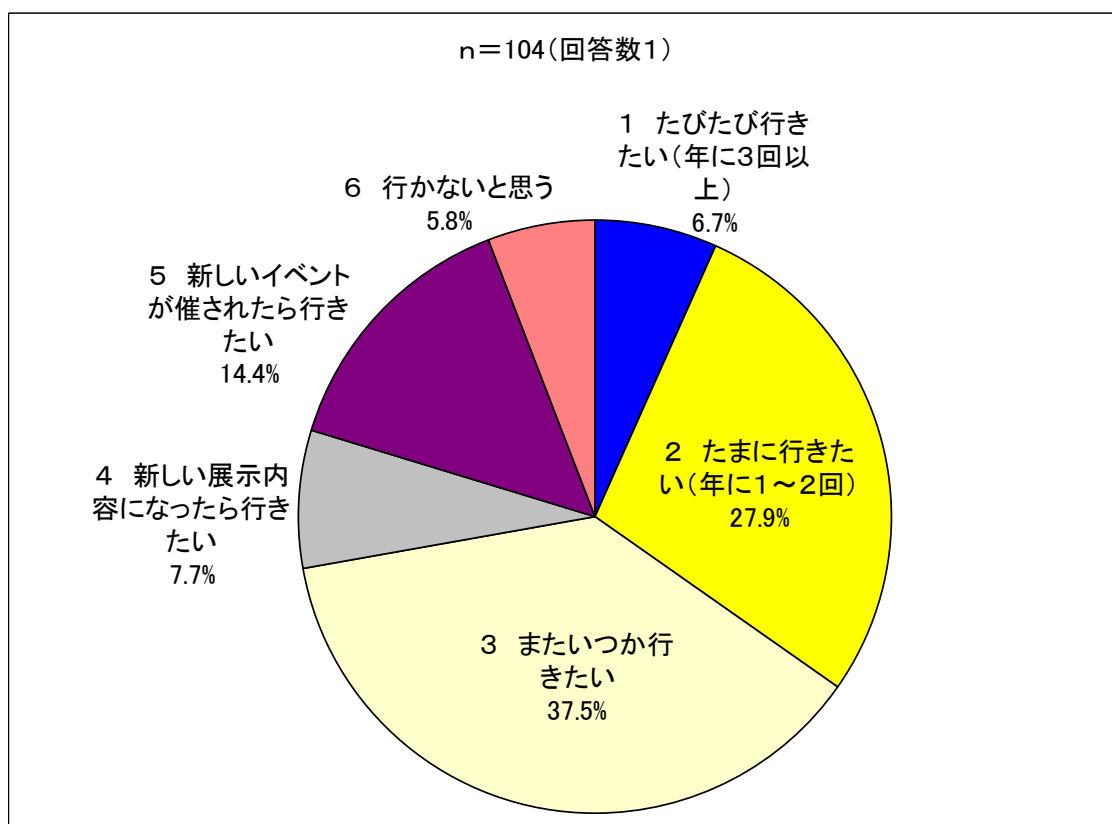
問 11 あなたは、「静岡の茶草場農法」で栽培されたお茶を購入したいと思いますか。  
(回答数は1つ)



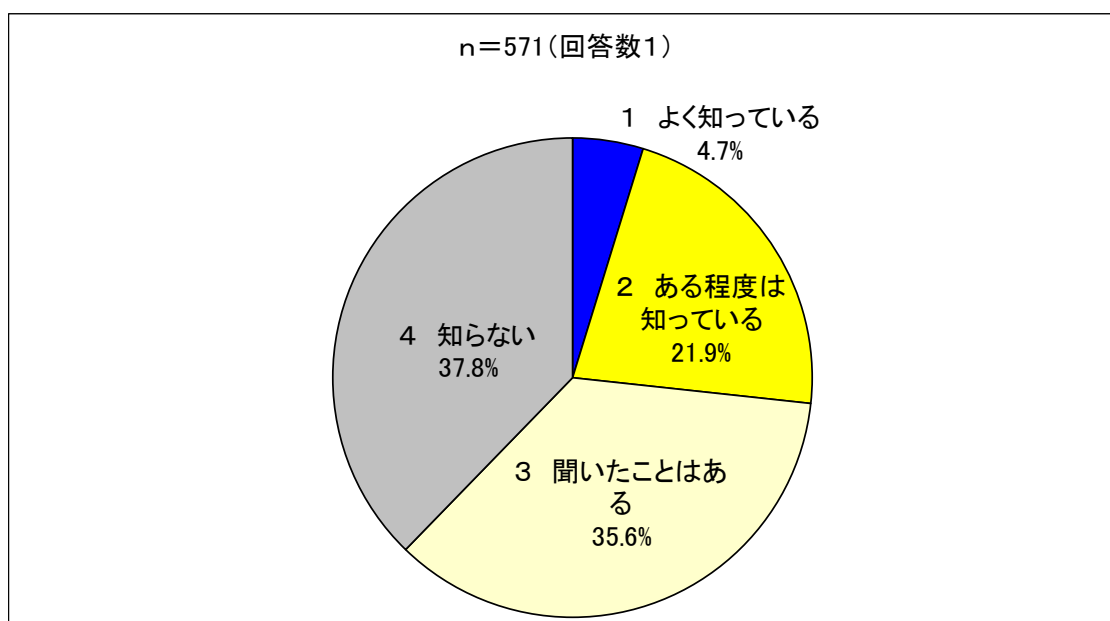
問 12 静岡県は、平成 30 年 3 月に「ふじのくに茶の都ミュージアム」をオープンしました。あなたは、「ふじのくに茶の都ミュージアム」に行ってみたいと思いますか。(回答数は 1 つ)



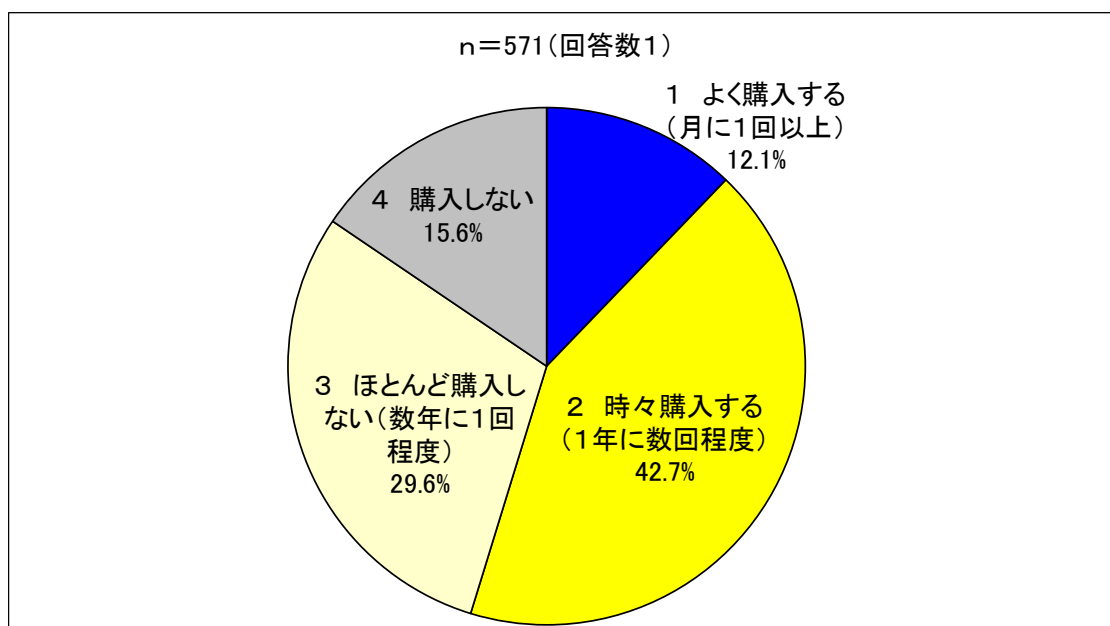
問12-2 問12で「1 すでに行ったことがある」を選択された方に伺います。  
再度行ってみたいと思いますか。(回答数は1つ)



問 13 静岡県は、多彩で高品質な花の全国屈指の生産県で、一年を通して花を楽しむ名所や花に関わる人材も豊富です。県はこれらを活用し、暮らしの様々な場面で花と緑があふれるふじのくに「花の都」づくり（花緑コンテストや花育活動など）に取り組んでいます。あなたは、この取組のことを知っていますか。（回答数は1つ）

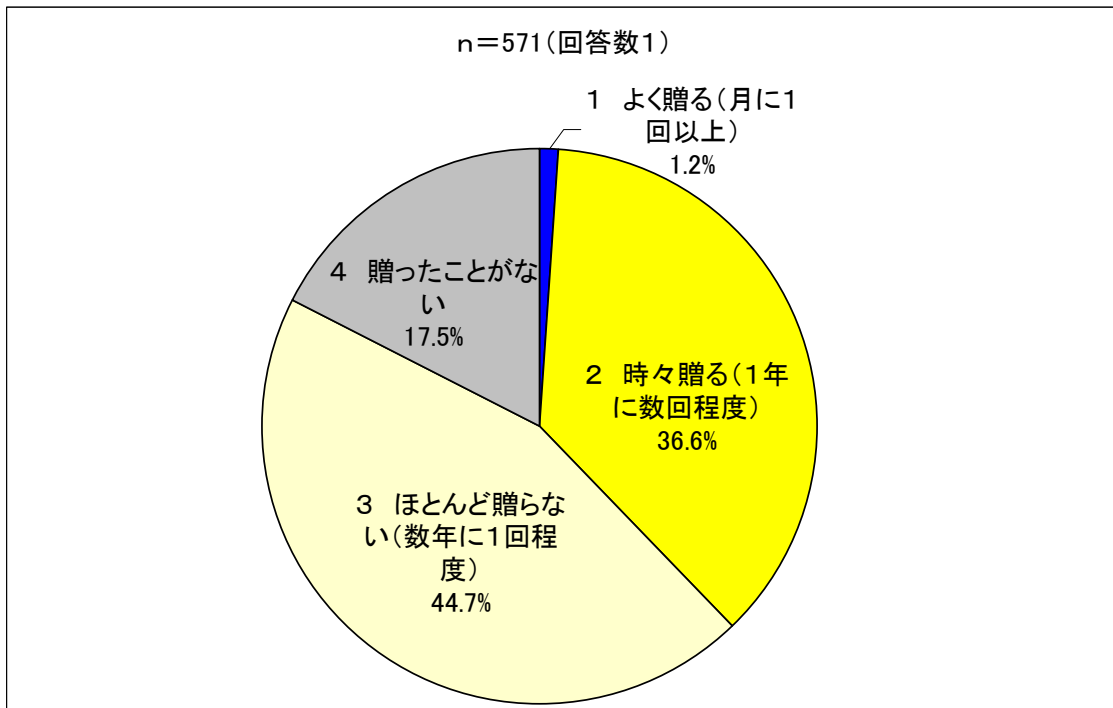


問 14 あなたは、切花、鉢物（鉢花、観葉植物、洋ラン等）、花苗、球根、種等を購入することがありますか。（回答数は1つ）

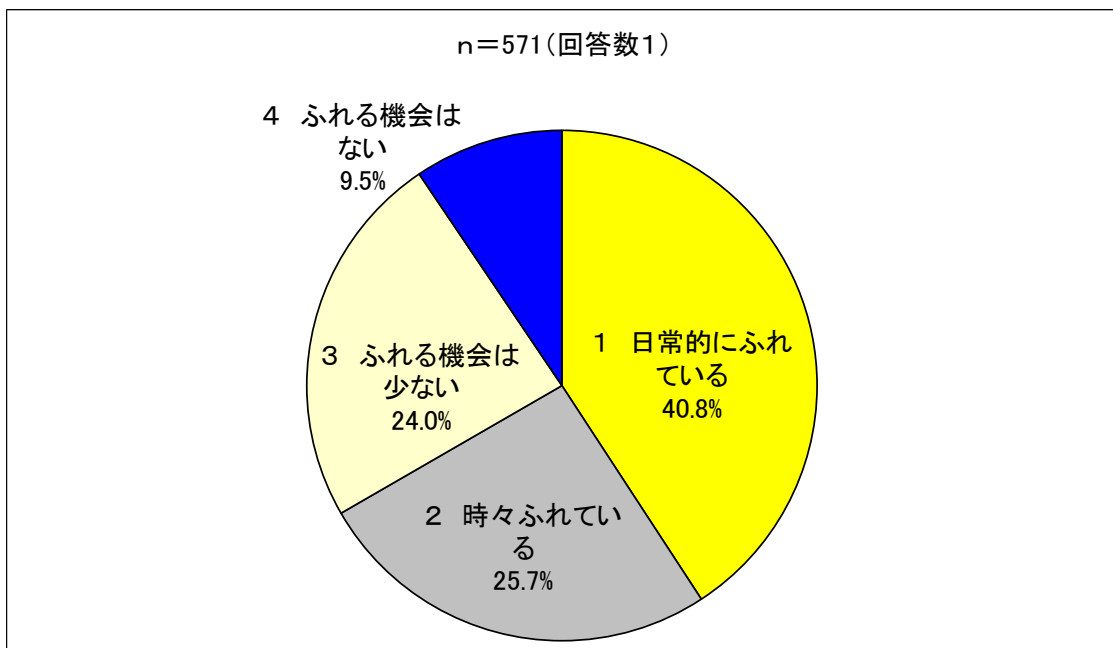




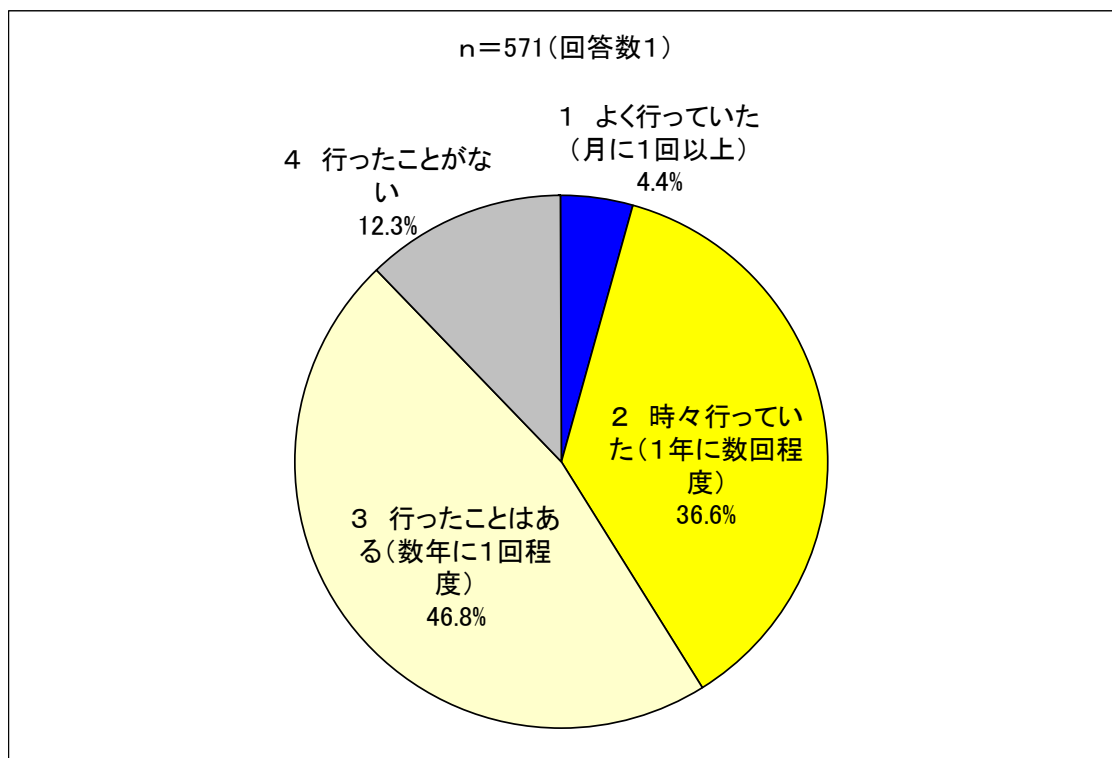
問 15 あなたは、生花（花束、フラワーアレンジメント、鉢物、寄せ植え）を家族や親戚、友人、訪問先への贈り物にしたことがありますか。（回答数は1つ）



問 16 あなたは、家で花を飾ったり、庭で花を育てるなど、日常的に花にふれていますか。（回答数は1つ）



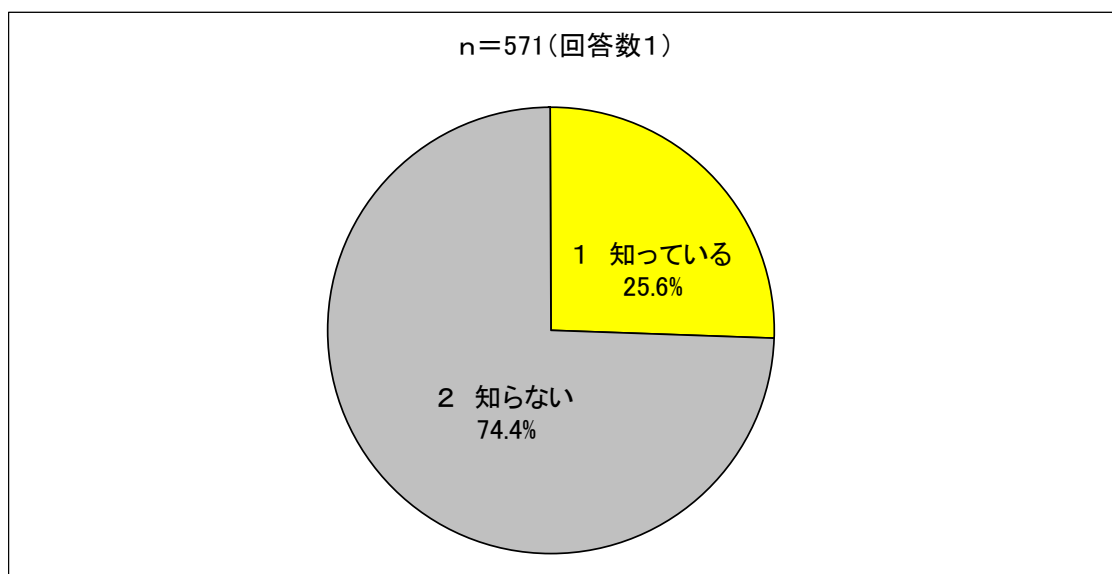
問 17 県内の観光施設では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休業していたところもありますが、あなたは、県内の花の観光施設や名所へ、花を見に行ったことがありますか。(例 河津桜、島田市ばらの丘公園、はままつフラワーパーク他) (回答数は1つ)



問 18 県では、新型コロナウイルス感染症防止対策と社会経済活動の両立を図るため、「バイ・シズオカ」運動を始めました。

「バイ・シズオカ」は、県内の生産者や事業者が直面する厳しい現状を県民の共助で乗り越えていくため、県民に県産品の購入や安心安全な県内施設の利用を呼び掛けていく取組です。

あなたは、この「バイ・シズオカ」のことを知っていますか。(回答数は1つ)

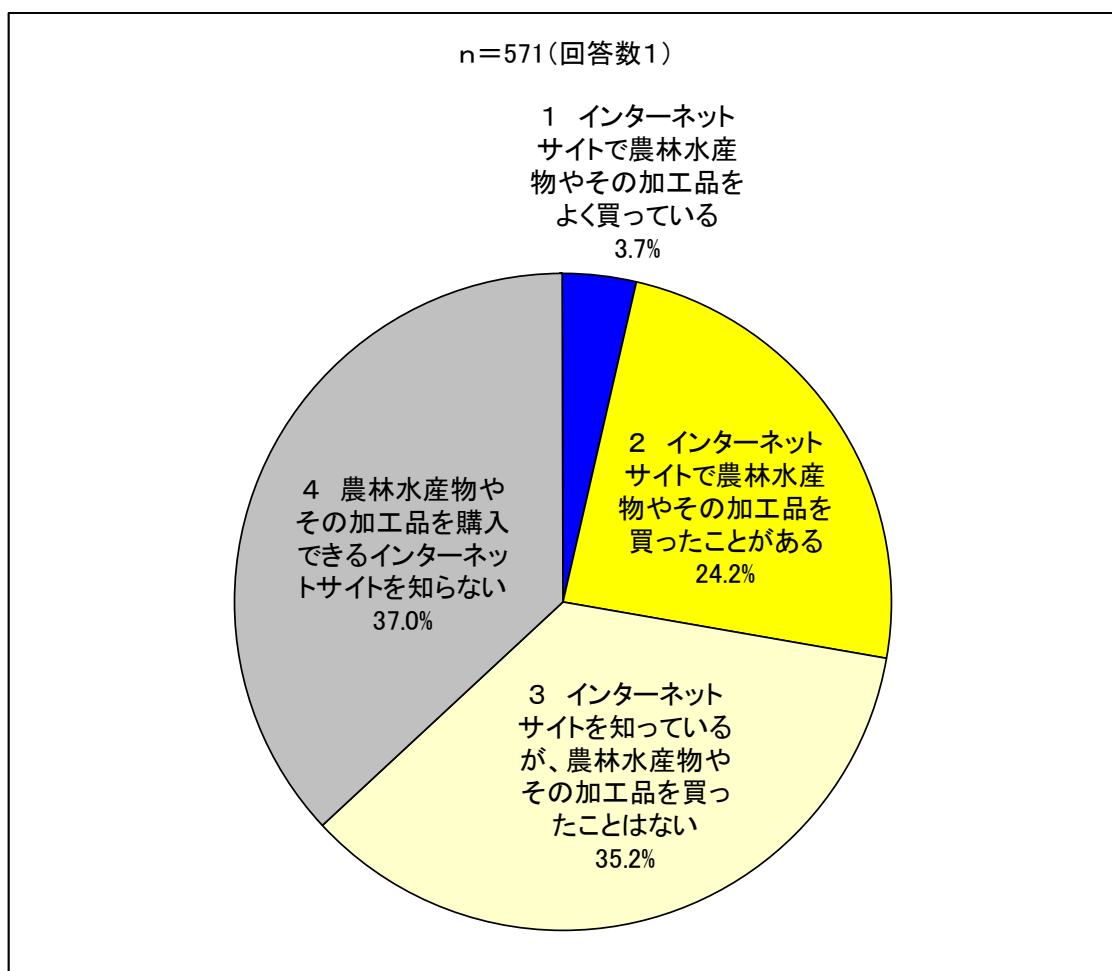


問 19 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ネットショッピングの利用が注目されています。あなたは、農林水産物やその加工品をインターネットサイトから購入したことがありますか。

(参考) JA 静岡経済連が運営するサイト「しずおか 手しお屋」では、県内各地の JA が提供する県産の生鮮野菜やお茶、お米などを購入できます。

また、「バイ・シズオカ」の取組の一つとして、対象商品を最大3割引で購入できる企画を実施しています。(6月30日まで。予定販売金額に達し次第早期終了する場合があります。)

<https://www.ja-town.com/shop/c/c4301/>



問 20 「食の都」「茶の都」「花の都」づくりについて、ご意見、ご提案等がありましたら自由にご記入ください。(500 文字)

担当課 経済産業部農業局農業戦略課  
TEL 054-221-2633  
FAX 054-221-2839  
メール nougyousen@pref.shizuoka.lg.jp